

第22回市長と話そう会

日時 令和元年5月31日(金)

16:00～

場所 社会福祉法人ナイスランド北方

参加者 社会福祉法人ナイスランド北方より
若手介護職員7名及び理事長、施設長



特別養護老人ホームやグループホームなどで働く介護職員のみなさんの仕事内容ややりがいについてお伺いすることができました。市長からは、なぜ介護職をめざそうと思ったのか？介護職を目指す人はどうすれば増えると思う？などの質問をされました。

大変さもありながら、利用者の笑顔や“ありがとう”の言葉に元気をもらい、やりがいを持って働かれている介護職員のみなさんの、実直で温もりのある現場の声を市長へ素直にお話されました。

◎座談会 (*以下要点のみを記載しています。)

市長：みなさんの仕事の内容や大変なところ、またやりがい等を教えてほしい。

参加者：

仕事内容) デイサービスは午前中にお風呂、昼食、レクレーションなどを行う。

認知者の利用者の方の食事、入浴、排せつなどの支援。

大変さ) 同じことを言っても反応が違ったり、混乱されたりするのでその都度考え対応しなければならぬ。腰を痛めており大変。入居者一人ひとりこれまでの生活環境が違うので難しい。人員不足。新人教育や職員のスキルアップが必要と感じる。

やりがい) 利用者から楽しかった、ありがとうと言われるのが力になるし、そのニーズにこたえられるように心がけている。寝たきりの方などに反応があるとやりがいを感じる。利用者から元気をもらうことが多い、明日も頑張ろうと感じる。

市長：なぜ介護職をめざそうと思ったのか？

参加者：

- ・実家で母が祖父の介護をしていて、それを見て役に立ちたいと感じた。
- ・中学生の職場体験で介護の職場がよいと感じた。
- ・中学3年生のときに祖父の病気で病院でスタッフの方を見て、感謝をされる人になろうと思った。

- ・人の役に立つ仕事がしたい。人と接する仕事がしたい。

市長：介護職を目指す人はどうすれば増えると思う？

参加者：

- ・介護は大変だろうとよく聞かれる。仕事内容が大変というイメージが強い。楽しいところもあるよと言うが伝わらない。
- ・給料が上がれば多少は違う。手当よりもベースの給料をあげてほしい。
- ・夜勤など拘束時間が多い。

市長：一番しんどい、つらい仕事は何か？

参加者：

- ・利用者さんが夜中に寝てくれないのがつらい。夜勤中、21人を1人で見ている。
- ・体格が大きい人のお世話が大変、からだにも負担がかかる。

(市長への質問・要望・相談)

- 福祉の支援を詳しく知らない。市はどのような事業をしているのか？
→市も知ってもらうことが必要ですね。伝えるのではなく、伝えることを意識して周知しなければと思う。
- 賃金の話などをどこに伝えればよいのか？
→介護報酬などの要望は市長会などで上げている。(年1回か2回)
みなさんには見えにくいですが、声がなければ変えていけない。どんどん声をあげてほしい。

市長：配属先がみなさん違うが希望ですか？

参加者：

- ・嫁いできて地域性を知りたいと思ってデイサービスを希望した。
- ・夜勤をやってみたいと思ってグループホームを希望した。

市長：休みはどうなっているのか？何をしているのか？

参加者：

- ・平日休みは映画館。友達と遊んでいる。子どもと過ごす。

市長：武雄にこういうものがあつたらいいなと思うことは？

参加者：

- ・ピザ屋、運動施設（ジムやプール）、仕事終わりに気軽にいける施設

市長：最後に

AIが進むとなくなる職場があるが、話を聞くことは人間にしかできない。
みなさんの仕事は絶対になくならない、みなさんにしかできない“心と心の仕事”だと思います。